

**KRK**  
COLORIMETRIC

# AQUA TESTER

## 比色法水質測定器



### 1. 回転比色板の交換が簡単

試験器は永久磁石付の扉によるワンタッチ開閉操作。

### 2. 高精度コンパレーターディスク群

標準比色フィルターは、退色/変色が少なく、長期の使用に耐え、比色測定の精度が更に向上。

### 3. プリズム・拡大レンズ付ファインダー

光学系はプリズムと拡大レンズ付機構で、正確な比色測定が可能になりました。



#### 残留塩素計 <オルトトリジン法> OT-1Z



#### PH比色計 <BTB法> BTB-1Z

- O-トリジンの塩酸溶液を指示薬として、遊離残留塩素と残留塩素(遊離残留塩素+結合残留塩素)を、9段階に測定することができます。(OT-1Z)
- ブロム・チモール・ブルー(BTB)を指示薬として、PH値6.0~7.6まで0.2PH間隔で、9段階にPH測定することができます。(BTB-1Z)

#### PH/残留塩素計 <BTB法+オルトトリジン法> OT-2Z



- 1台の試験器に、比色板2枚(BTB (PH)+OT (Cl<sub>2</sub>))をセットして、PHと残留塩素(O-トリジン法)の2項目を測定できます。

#### オゾン計

#### O<sub>3</sub>-1Z



- 比色管に試薬RA・RBを予め入れておき、検水10mlを採取し、次に試薬RCを加えて良く攪拌し、発色した色調を比色測定します。  
<測定範囲> 0.12~0.6mg/l

#### 残留塩素計 <DPD法> DP-1Z/DP-2Z

- DPD試薬と、リン酸緩衝液の2種類の試薬を使用して、遊離残留塩素を、9段階に測定。(DP-1Z)
- 1台の試験器に、比色板2枚(BTB (PH)+DPD (Cl<sub>2</sub>))をセットしてPHと残留塩素(DPD法)の2項目を測定できます。(DP-2Z)



#### 亜硝酸計 <亜硝酸性窒素> NO<sub>2</sub>-1Z

- 粉末GR試薬を発色剤として、水中の亜硝酸性窒素濃度を0.01~0.5ppmまで9段階に測定することができます。  
亜硝酸イオンで求める場合NO<sub>2</sub>-N濃度にファクターF:3.3を乗じて下さい。



#### アンモニア計 <アンモニア性窒素> NH<sub>4</sub>-1Z

- ネスラー試薬を指示薬として、水中のアンモニア性窒素濃度を、0~10ppmまで、9段階に測定することができます。(NH<sub>4</sub>-1Z)
- アンモニウムイオンで求める場合は、NH<sub>4</sub>-N濃度にファクターF:1.3を乗じて下さい。海水を測定する場合は、別途マスキング剤が必要です。
- 1台の試験器に、比色板2枚(NH<sub>4</sub>-N+NO<sub>2</sub>-N)をセットして、アンモニア性窒素と亜硝酸性窒素の2項目を測定できます。(NH<sub>4</sub>-2Z)



仕様

測定項目	型式	測定範囲 (単位mg/l) PHを除く	試薬種類
残留塩素 オルトトリジン法	OT-1Z	0.1 0.2 0.3 0.4 0.7 1.0 2.0 3.0 5.0	1(20ml)
残留塩素 DPD法	DP-1Z	0.1 0.2 0.3 0.4 0.7 1.0 1.5 2.0 2.5	2 20ml+3g
水素イオン濃度 BTB法	BTB-1Z	6.0 6.2 6.4 6.6 6.8 7.0 7.2 7.4 7.6	1(20ml)
アンモニア性窒素 ネスラー法	NH <sub>4</sub> -1Z	0.2 0.4 0.6 1.0 2.0 3.0 4.0 6.0 10.0	1(20ml)
亜硝酸性窒素 GR法	NO <sub>2</sub> -1Z	0.01 0.02 0.04 0.06 0.08 0.1 0.2 0.3 0.5	1(15ml)
PH/残留塩素 (OT) BTB+オルトトリジン法	OT-2Z	PH: 6.0 6.2 6.4 6.6 6.8 7.0 7.2 7.4 7.6 Cl <sub>2</sub> : 0.1 0.2 0.3 0.4 0.7 1.0 2.0 3.0 5.0	2
PH/残留塩素 (DPD) BTB+DPD法	DP-2Z	PH: 6.0 6.2 6.4 6.6 6.8 7.0 7.2 7.4 7.6 Cl <sub>2</sub> : 0.1 0.2 0.3 0.4 0.7 1.0 1.5 2.0 2.5	2
アンモニア/亜硝酸 ネスラー+GR法	NH <sub>4</sub> -2Z	NH <sub>4</sub> : 0.2 0.4 0.6 1.0 2.0 3.0 4.0 6.0 10.0 NO <sub>2</sub> : 0.01 0.02 0.04 0.06 0.08 0.1 0.2 0.3 0.5	2
オゾン DPD法	O <sub>3</sub> -1Z	0.12 0.14 0.16 0.18 0.24 0.3 0.4 0.5 0.6	3

\*NH<sub>4</sub>-1Z試薬121 海水用の場合マスキング剤(NH<sub>4</sub>-R)1.5gが必要です。



# 有効塩素・リン酸・亜硝酸・硝酸・比色測定!

<p><b>H・Cl<sub>2</sub> 〈次亜・有効塩素計〉</b></p> <p>10~150mg/ℓ 測定</p> 	<p style="text-align: right;"><b>Cl<sub>2</sub>-1Z-H</b></p> <p>●食品材料（野菜・魚介類・牛肉）調理器具・洗ビンの殺菌工程！ ●上水道・飲料水・生産水・下水道の殺菌工程！ ●電解酸性水、電解次亜生成水等の水質検査、その他！</p> <p>測定操作 サンプル水を角型試験管に10ml採水して、試薬を加えて振って1分後、比色検定器で比色測定する。</p> <p>測定範囲：10~150mg/ℓ 9段階測定 比色板：10, 20, 30, 40, 50, 60, 80, 100, 150mg/ℓ 測定時間：1分以内 標準構成：比色検定器・比色板・比色管（2ヶ） 標準試薬 携帯ケース</p> 
<p><b>PO<sub>4</sub> 〈リン酸イオン計〉</b></p> <p>0~10 mg/ℓ 測定</p> 	<p>●浄化槽・井戸水・排水処理・河川・湖沼等の水質検査に！ <b>PO<sub>4</sub>-1Z-K</b></p> <p>測定操作 1. サンプル水を25ml試験管に採り、R-1 試薬を1ml入れて攪拌する。 2. R-2試薬を入れて攪拌する。 3. 5分後測定セルに移し比色測定を行う。</p> <p>測定範囲：0.2~10 mg/ℓ 9段階測定 比色板：0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1.0, 2.0, 4.0, 6.0, 10.0mg/ℓ 測定方法：モリブデン青法 測定時間：R-2 試薬投入後5分 標準構成：比色検定器・比色板・比色管（2ヶ）・試験用瓶（1ヶ）・標準試薬（2種、30回分） カッター・携帯ケース</p>
<p><b>NO<sub>2</sub> 〈亜硝酸イオン計〉</b></p> <p>0~1 mg/ℓ 測定</p> 	<p>●浄化槽・井戸水・排水処理・河川・養殖池等の水質検査 <b>NO<sub>2</sub>-1Z-K</b></p> <p>測定操作 1. サンプル水を25ml試験管に採り、R-1試薬を入れて30秒間攪拌する。 2. R-2試薬を入れて攪拌する。 3. 10分後測定セルに移し比色測定を行う。</p> <p>測定範囲：0~1.0mg/ℓ 9段階測定 比色板：0.02, 0.04, 0.1, 0.2, 0.3, 0.5, 0.6, 0.8, 1.0mg/ℓ 測定方法：GR改良法 測定時間：R-2試薬投入後10分 標準構成：比色検定器・比色板・比色管（2ヶ）・試験用瓶（1ヶ）・標準試薬（2種、30回分） カッター・携帯ケース</p>
<p><b>NO<sub>3</sub> 〈硝酸イオン計〉</b></p> <p>0~20 mg/ℓ 測定</p> 	<p>●浄化槽・井戸水・排水処理・河川等の水質検査！ <b>NO<sub>3</sub>-1Z-K</b></p> <p>測定操作 1. サンプル水を25ml試験管に採り、R-1・R-2試薬を入れて約1分間激しく攪拌その後静置。 2. 10分後測定セルに移し比色測定を行う。＊亜硝酸イオンが混在する場合の前処理方法 簡便法 A. 試料25mlを試験管に採り、亜硝酸イオンががすかに残るようにスルファミン酸を加えて攪拌する。この液を測定する。 B. 上記の溶液を別に亜硝酸イオン測定を行い、硝酸イオン測定値よりマイナスする。</p> <p>測定範囲：0~20.0mg/ℓ 9段階測定 比色板：0.2, 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 6.0, 8.0, 10.0, 20.0mg/ℓ 測定方法：還元+GR変法 測定時間：R-2試薬投入後10分 標準構成：比色検定器・比色板・比色管（2ヶ）・試験用瓶（1ヶ）・標準試薬（2種、30回分） カッター・携帯ケース ※亜硝酸イオンが混在する場合、マスキング剤（15g）が必要</p> <p style="font-size: small;">前処理剤は別売、50回分パック（R-1・R-2は前処理剤177F-1）</p>

○記載事項は開発改良に伴い変更する場合があります。

**KRK**

**笠原理化工業株式会社**

本社 埼玉県久喜市吉羽1658番地 〒346  
TEL.0480-23-1781(代)  
FAX.0480-23-2749